

地域意見交換会及び 事後アンケート結果について

- 開催日程
- 参加者数
- 事後アンケート結果

開催日程

■ワークショップ形式による意見交換

- ※テーマ：10年後、この地域にあってほしい高校の姿
- ※事後アンケートにより、論点①～④や魅力化の方向性に関する御意見を聴取

10～11月

日程	開催地	会場
10/10(木)	水俣市	水俣市公民館本館
10/18(金)	小国町	おぐに町民センター議場
10/21(月)	芦北町	芦北地域振興局
10/24(木)	宇土市	宇土市民会館
10/29(火)	阿蘇市	阿蘇地域振興局
10/30(水)	山都町	矢部保健福祉センター千寿苑
11/ 5(火)	錦町	錦町役場
11/11(月)	荒尾市	荒尾総合文化センター
11/19(火)	あさぎり町	商工コミュニティセンター ホッポ-館
11/26(火)	甲佐町	生涯学習センター「輝」
11/27(水)	御船町	上益城地域振興局
11/29(金)	高森町	高森総合センター

県内25ヶ所（県立高校所在市町村）にて計28回開催

12～2月

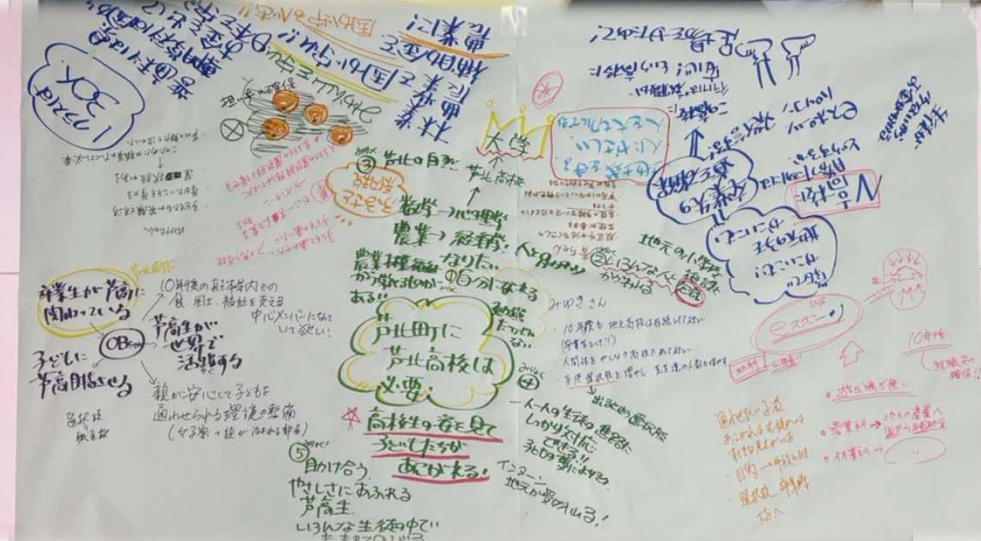
日程	開催地	会場
12/ 9(月)	五木村	五木村役場
12/10(火)	宇城市	松橋東防災拠点センター
12/11(水)	菊池市	菊池市文化会館
12/17(火)	上天草市	上天草市大矢野庁舎
1/ 7(火)	大津町	大津町生涯学習センター
1/12(日)	苓北町	町民総合センター
1/20(月),23(木),30(木)	熊本市	県庁防災センター
1/21(火)	人吉市	人吉市カルチャーパレス
1/28(火)	玉名市	玉名市民会館
2/9(日), 19(水)	八代市	お祭りでんでん館
2/13(木)	天草市牛深	牛深総合センター
2/16(日)	天草市本渡	天草市民センター
2/21(金)	山鹿市	山鹿市民交流センター

参加者数

単位：名

日程	開催地	参加者数	日程	開催地	参加者数	日程	開催地	参加者数
①10/10(木)	水俣市	6 4	⑪11/27(水)	御船町	7 6	⑳1/23(木)	熊本市(2)	2 5
②10/18(金)	小国町	4 3	⑫11/29(金)	高森町	4 5	㉑1/28(火)	玉名市	6 1
③10/21(月)	芦北町	3 9	⑬12/ 9(月)	五木村	3 8	㉒1/30(木)	熊本市(3)	3 9
④10/24(木)	宇土市	1 0 5	⑭12/10(火)	宇城市	6 8	㉓2/ 9(日)	八代市①	6 0
⑤10/29(火)	阿蘇市	3 5	⑮12/11(水)	菊池市	5 7	㉔2/13(木)	天草市牛深	1 0 4
⑥10/30(水)	山都町	1 2 3	⑯12/17(火)	上天草市	5 1	㉕2/16(日)	天草市本渡	1 3 1
⑦11/ 5(火)	錦町	6 5	⑰ 1/ 7(火)	大津町	8 4	㉖2/19(水)	八代市②	4 0
⑧11/11(月)	荒尾市	2 8	⑱1/12(日)	苓北町	5 7	㉗2/21(金)	山鹿市	6 2
⑨11/19(火)	あさぎり町	3 7	㉠1/20(月)	熊本市(1)	8 2	参加者合計数：延べ1,709名 うちワークショップ参加者：延べ1,555名		
⑩11/26(火)	甲佐町	4 7	㉡ 1/21(火)	人吉市	4 3			

参加状況（会場の様子）



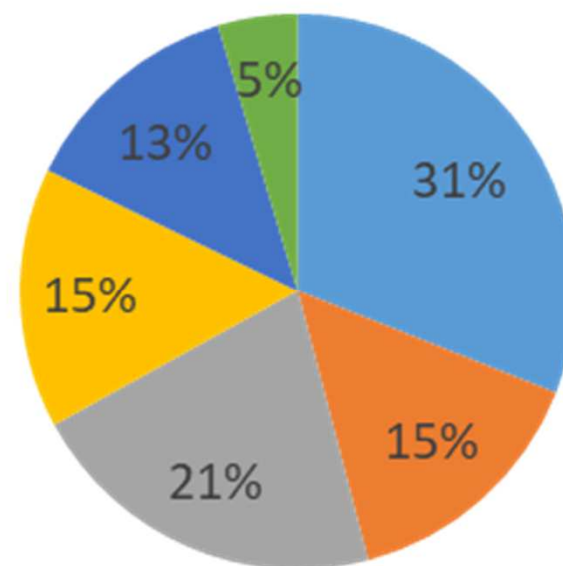
地域意見交換会 事後アンケート結果

回答者の属性

回答総数：1 4 8 8

1. あなたについて当てはまるものを選択してください。

学校関係者（教職員）	461
学校関係者（児童・生徒）	222
学校関係者（保護者・同窓会等）	314
行政関係者	226
一般	196
その他	69



- 学校関係者（教職員）
- 学校関係者（児童・生徒）
- 学校関係者（保護者・同窓会等）
- 行政関係者
- 一般
- その他

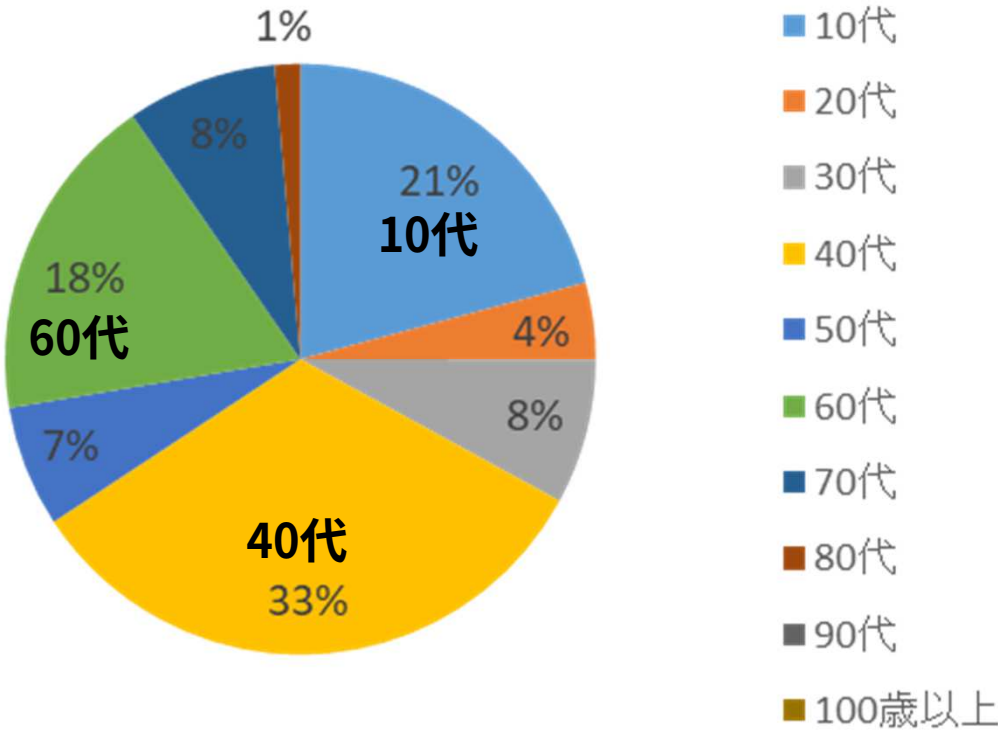
地域意見交換会 事後アンケート結果

回答者の年代

回答総数：1 4 8 8

2. あなたの年齢に当てはまるものを選んでください。

10代	223
20代	45
30代	85
40代	351
50代	71
60代	193
70代	88
80代	15
90代	0
100歳以上	0



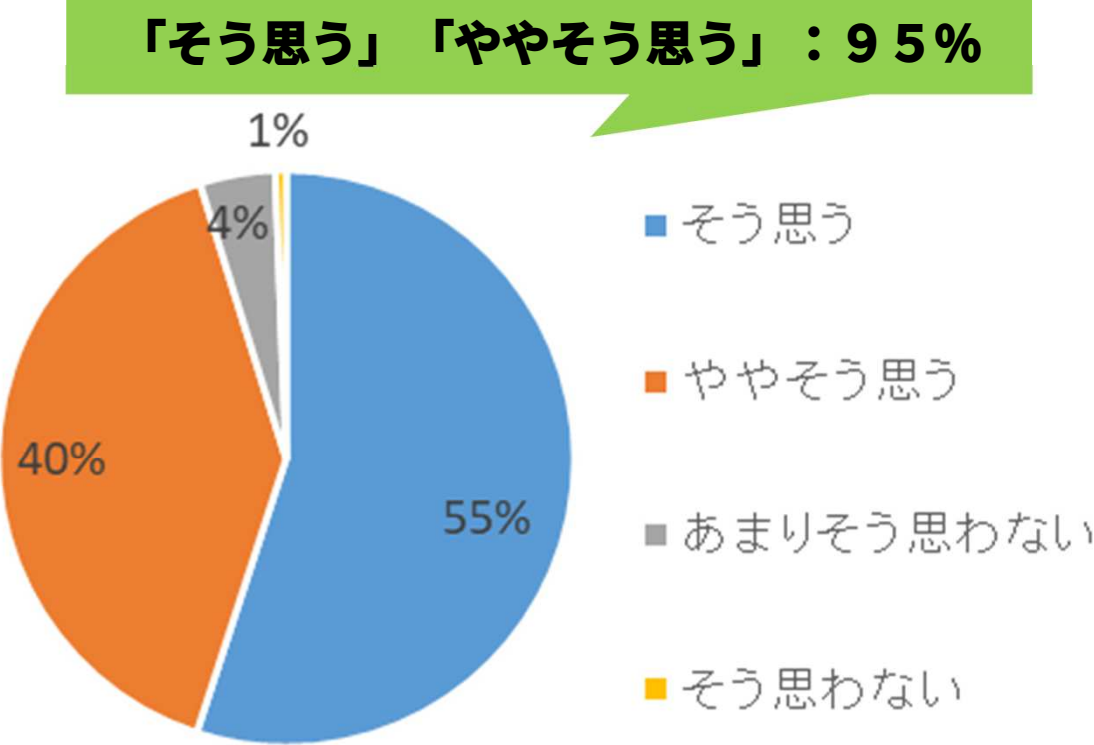
地域意見交換会 事後アンケート結果

県教委からの情報提供の満足度

回答総数：1 4 8 8

3. 本日の内容について、県教育委員会からの情報提供
(県立高校の現状・課題、あり方検討会の説明等) は
わかりやすかったですか？

そう思う	819
ややそう思う	597
あまりそう思わない	63
そう思わない	9



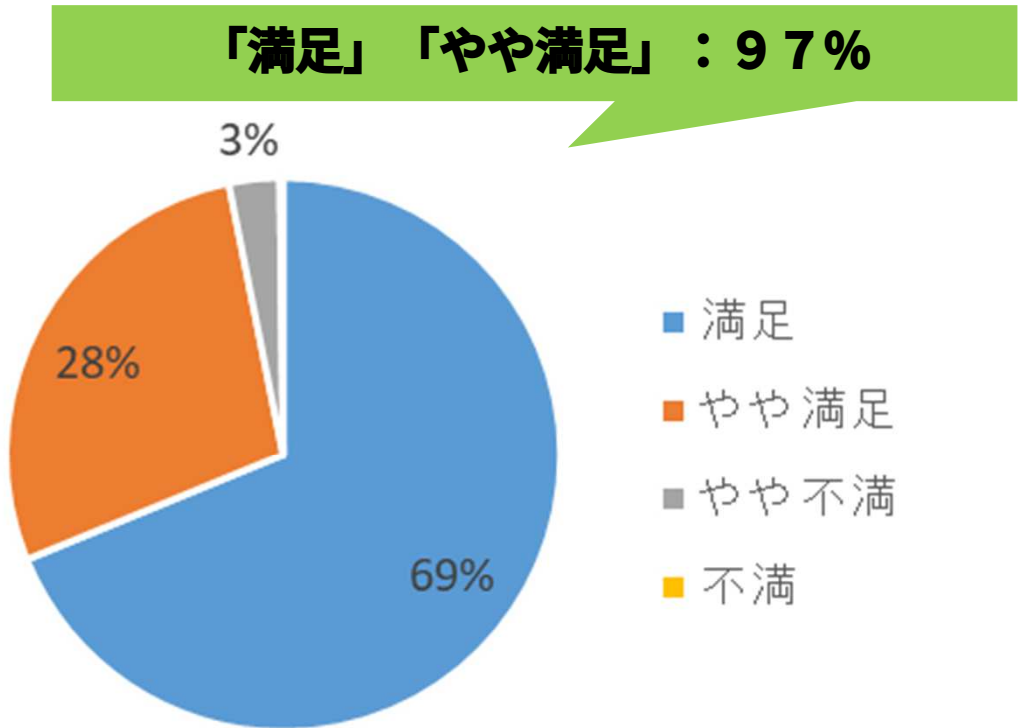
地域意見交換会 事後アンケート結果

ワークショップの満足度

回答総数：1 4 8 8

4. 本日の内容について、ワールドカフェ ワークショップはいかがでしたか？

満足	1024
やや満足	417
やや不満	44
不満	3



地域意見交換会 事後アンケート結果

あり方検討会の議論の方向性について

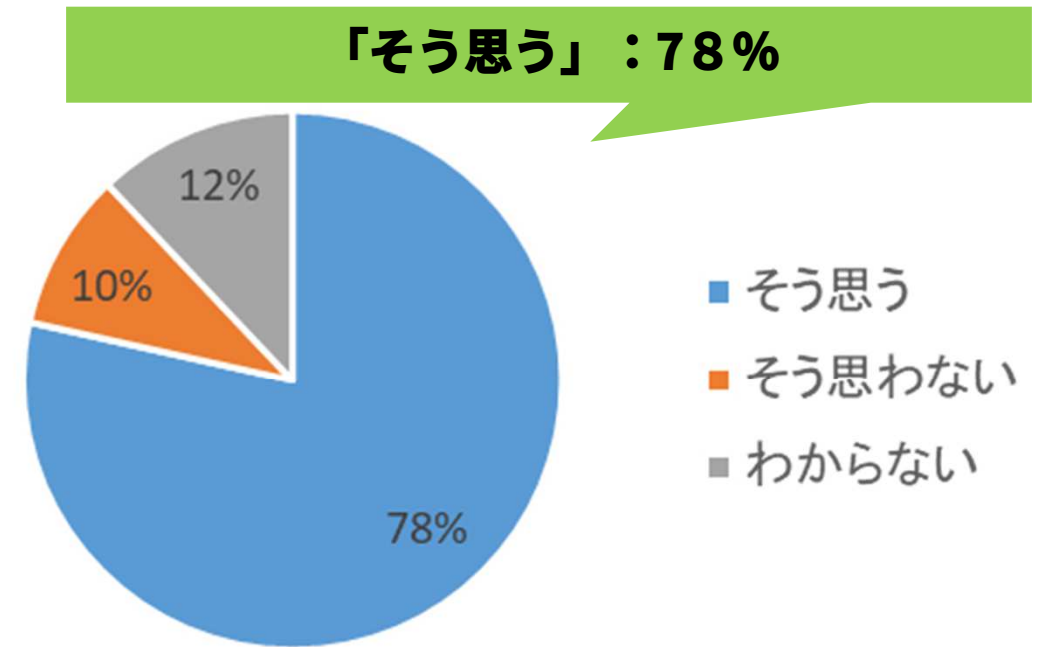
回答総数：1 4 4 5

※第2回会場のアンケートから選択肢を設けたため、第1回の水俣市は集計に含まない。以下同様。

論点①－1 熊本市内の大規模校を含めた募集定員の見直しが必要ではないか

5.〈論点①〉 「募集定員の見直しの考え方」について、「熊本市内の大規模校を含めた見直しが必要ではないか」という第2回あり方検討会での方向性についてどう思いますか？

そう思う	1134
そう思わない	137
わからない	174



地域意見交換会 事後アンケート結果

募集定員の見直しに関する主な意見

※自由記述まとめ

●少子化の影響を反映した募集定員の設定

- ・子どもの減少に応じた募集定員の削減は当然
- ・熊本市内と熊本市外は別に考えるべきであり、地域の特性に応じた対応が必要

●熊本市内一極集中の是正

- ・熊本市内への生徒集中が、熊本市外の高校の定員割れの一因になっている
- ・熊本市内の大規模校の定員削減が、熊本市外の高校の定員割れ改善につながる

●募集定員見直しにあたって必要な視点

- ・ただ大規模校の定員を減らしても私立に流出するだけでは
地域に生徒が残るような仕組みや公私による全県的な議論が必要
- ・中学生が地元に残って学びたいと思えるような魅力づくりが必要

地域意見交換会 事後アンケート結果

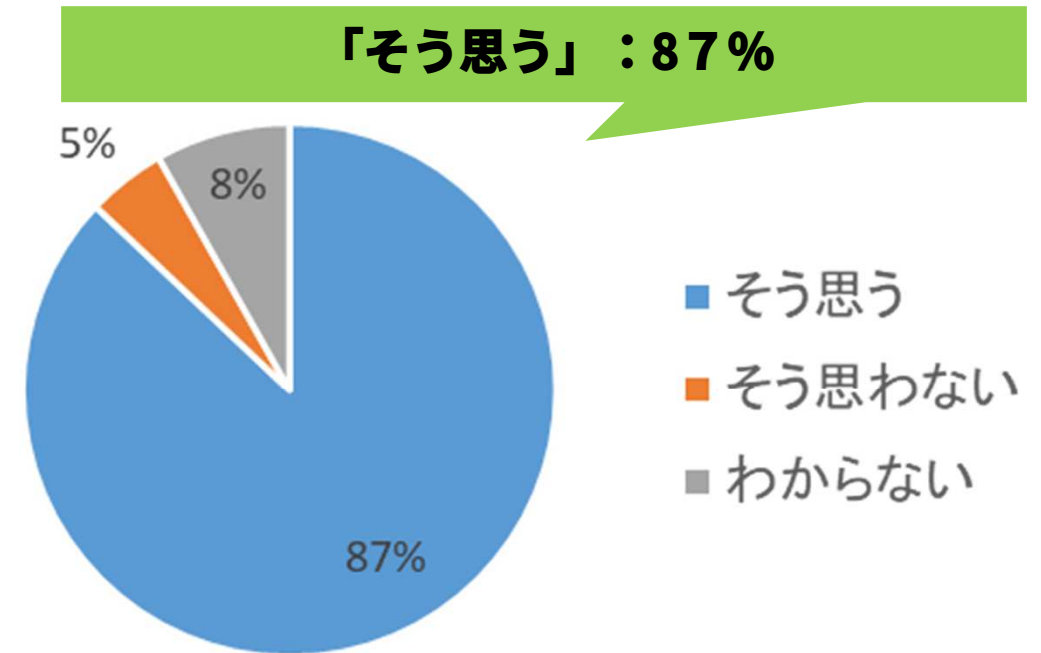
あり方検討会の議論の方向性について

回答総数：1445

論点①－２ 少人数学級編制（1学級40人未満）の導入検討が必要ではないか

6. また、「少人数学級編制（1学級40人未満）の導入検討が必要ではないか」という第2回あり方検討会での方向性についてどう思いますか？

そう思う	1258
そう思わない	69
わからない	118



地域意見交換会 事後アンケート結果

少人数学級編制に関する意見（主なもの）

※自由記述まとめ

①導入の必要性

- ・ 40人学級制度は現代の教育ニーズに合っていない
- ・ 教員の責任範囲や生徒指導の負担は増大している
- ・ 少人数にすれば、生徒一人一人に目が届きやすく、生徒へのきめ細やかな指導が可能になり、教育の質が向上
- ・ 教職員の働き方改革にも寄与することが期待される

②導入にあたっての課題

- ・ 教職員の確保
- ・ 予算の確保、教員定数に関する法律の改善

地域意見交換会 事後アンケート結果

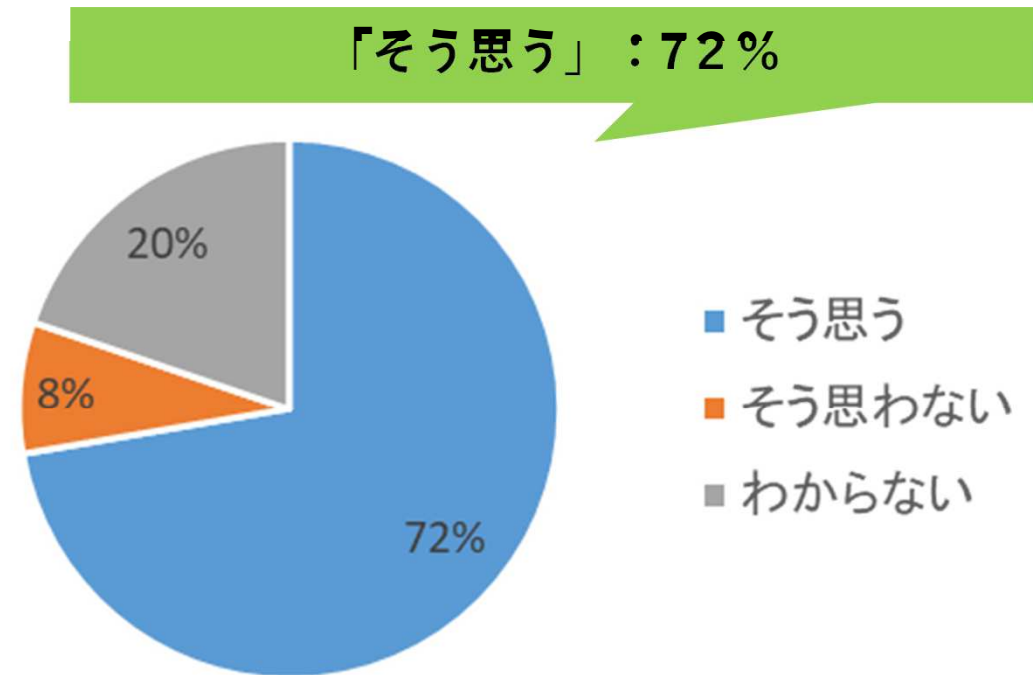
あり方検討会の議論の方向性について

回答総数：1445

論点② 一律の適正規模は定めないこととするのがよいのではないか

7.〈論点②〉 「適正規模の考え方」について、「一律の適正規模は定めないこととするのがよいのではないか」という第2回検討会での方向性についてどう思いますか？

そう思う	1045
そう思わない	114
わからない	286



地域意見交換会 事後アンケート結果

適正規模に関する主な意見（主なもの）

※自由記述より

適正規模を定めない方がよい

- ①一律の適正規模は定めず、地域ごとの実情に応じた柔軟な規模の設定が必要
 - ・地域差や人口減少、学校の特性や役割等を踏まえる必要
 - ・小規模校のメリットを活かしていくべき
 - ・一定の基準を持ちながら、地域や学校の特性に柔軟に対応する方法もある
- ②ICTを活用した教育の充実と効率化への期待
 - ・ICTを活用すれば、規模にとらわれない形での教育が可能
- ③地域への影響を考慮する必要
 - ・地域の衰退を防ぐ観点から、長期的で慎重な議論が必要

適正規模を定めた方がよい

- ①適正規模は必要、一定の生徒数がないと学校運営が難しい
- ②生徒数の減少を考慮し、適正規模を再検討すべき
- ③教育の質向上や地域活性化を目的とした再編・統合はあってよい

地域意見交換会 事後アンケート結果

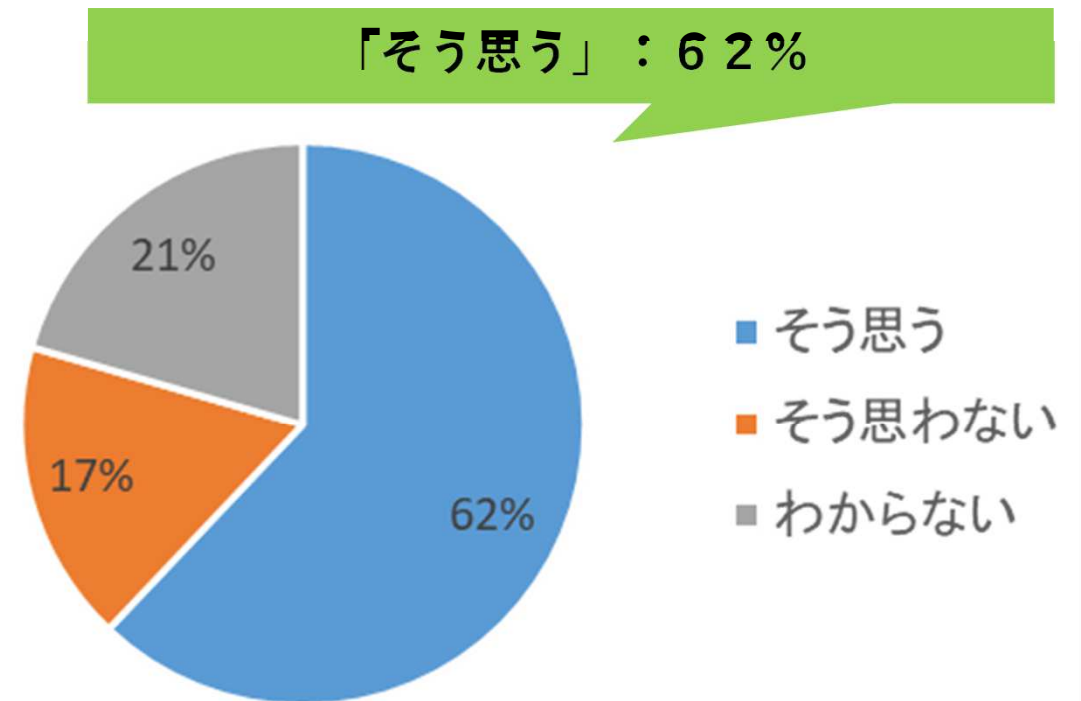
あり方検討会の議論の方向性について

回答総数：1445

論点③分校化又は統廃合について、目標となる明確な基準があれば、地域と一体となって学校存続に取り組めるのではないか

8.〈論点③〉 「分校化又は統廃合の基準についての考え方」について、「目標となる明確な基準があれば、地域と一体となって学校存続に取り組めるのではないか」という第2回検討会での方向性についてどう思いますか？

そう思う	897
そう思わない	251
わからない	297



地域意見交換会 事後アンケート結果

基準の明確化に肯定的な意見（主なもの）

※自由記述まとめ

- ①学校と地域の一体化を促進するために目標の明確化が必要
 - ・基準が示されれば、地域住民に切迫感が伝わる
 - ・目標があれば、努力の方向性やとるべき行動が明確になる
 - ・生徒数だけの議論にならないことが大事
- ②平等性の観点から、何らかの基準が必要
 - ・地元が努力する機会を設ければ、もし基準に満たず統廃合となった場合も理解が得やすい
- ③教育の質の向上が必要
 - ・教育の質を保障するためには、ある一定の規模が必要
 - ・生徒数が減っているので仕方ない
- ④地域の実情への考慮が必要
 - ・生徒が自宅から通学可能な場所に高校が必要（生徒や保護者の負担軽減）
 - ・地域からの評価を基準に反映させる必要

地域意見交換会 事後アンケート結果

基準の明確化に否定的な意見（主なもの）

※自由記述まとめ

①基準設定は困難

- ・生徒数だけでは判断できない
- ・適切な基準は地域によって異なるため一律にすべきでない
- ・基準をクリアすることが目標になってしまい本質を見失うおそれ

②地域の実情への配慮と柔軟な対応が重要

- ・地域によって事情が違うため配慮が必要
- ・地域に合わせた柔軟な対応が必要

③地域との連携が重要

- ・地域と一体となって取り組むこと自体は大事・自治体との話し合いが必要

④高校の存続が重要

- ・地域に高校を存続させることが重要であり、分校化や統廃合の基準設定はしないほしい

⑤魅力化・特色化が重要

- ・基準設定よりも、高校の特色を出す方法を考えるべき

地域意見交換会 事後アンケート結果

あり方検討会の議論の方向性について

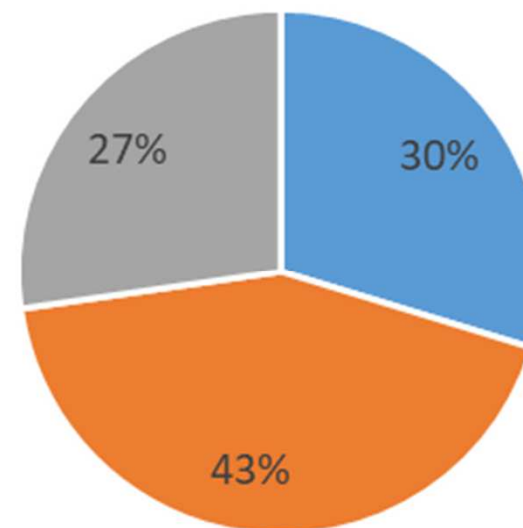
回答総数：1 4 4 5

論点④通学区域・学区外枠の考え方について

9.〈論点④〉 「通学区域・学区外枠の考え方」について、あなたの考えに近いものを選んでください

全県一区にすべき
学区制を維持すべき
わからない

429
622
394



「学区制を維持すべき」：43%

■ 全県一区にすべき
■ 学区制を維持すべき
■ わからない

地域意見交換会 事後アンケート結果

「全県一区にすべき」とする意見（主なもの）

※自由記述まとめ

- ①選択肢の拡大・教育の機会均等
 - ・子どもたちの学びの選択肢が広がる
 - ・学区外枠によって受検を諦めたり不合格になっている生徒がいる中、全県一区化をすれば教育を受ける機会が平等になる
- ②熊本市内の募集定員を減らした上で全県一区化し、子どもたちが県下の各校の魅力を知り、行きたい高校に行くというのが望ましい
- ③通学区域の必要性への疑問
 - ・現行の3学区になった時点で、既に学区の意味合いが薄れている
 - ・オンラインで学ぶ時代、ICTを活用すれば学区は関係ないのでは
- ④学区制があることで、熊本学区内への移住が進んでしまうのでは

地域意見交換会 事後アンケート結果

「学区制を維持すべき」とする意見（主なもの）

※自由記述まとめ

①教育の機会均等・地域の学びを守る重要性

- ・全県一区により地域の高校の存続が困難になれば、子どもの学ぶ機会や選択肢を奪うことになるおそれがある
- ・現状のまま全県一区を導入すれば、熊本市内への流出が加速し、地域の衰退にもつながる
- ・学区制を維持し、各学区の魅力ある高校づくりを進めてほしい
- ・地域の子どもは地域で育てるのがよい

②生徒や保護者の負担軽減の必要性

- ・長距離通学は、生徒の通学時間の負担や保護者の経済的負担が大きい

③継続検討の必要性等

- ・当面は学区制を維持した上で、数年単位で検討を続けるべき
- ・旧8学区を復活させるなど、学区をより細分化すべき

地域意見交換会 事後アンケート結果

10年後のあってほしい姿・魅力化の方向性等に関する意見（主なもの）

※自由記述まとめ

① 地域における高校教育の重要性

- ・子どもたちの学びの場として重要な基盤
- ・地域活性化に欠かせない存在

② 魅力的な教育プログラムと教育改革

- ・時代の変化に対応できる力をつける教育
- ・グローバル化や未来を見据えた教育の革新
- ・地域資源を活かした特色ある学科や学びの充実
- ・生徒主体の柔軟で多様な教育スタイルの推進が必要

③ 地域との連携強化

- ・学校と地域住民、小中学校、企業等との連携により「ふる里愛」を醸成し、卒業後も地元で貢献できる人材の育成が必要

④ 持続可能な運営と環境整備

- ・地域密着型の学校運営、ICT活用、施設・設備整備
- ・寮又は下宿等の整備、通学しやすい環境の整備
- ・効果的な広報活動と地域資源の有効活用が必要

地域意見交換会

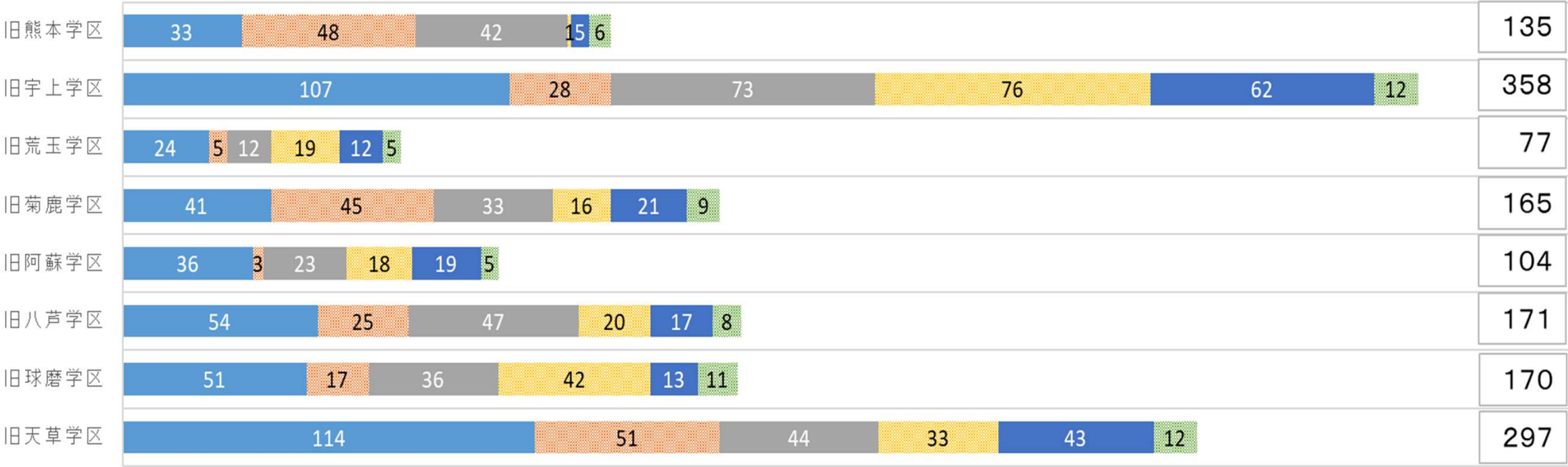
事後アンケート結果

旧学区別

回答者の属性

回答者

■ 学校関係者(教職員) ■ 学校関係者(児童・生徒) ■ 学校関係者(保護者・同窓会等) ■ 行政関係者 ■ 一般 ■ その他



地域意見交換会

事後アンケート結果

旧学区別

論点①－１ 熊本市内の大規模校を含めた募集定員の見直しが必要ではないか

■ そう思う ■ そう思わない ■ わからない



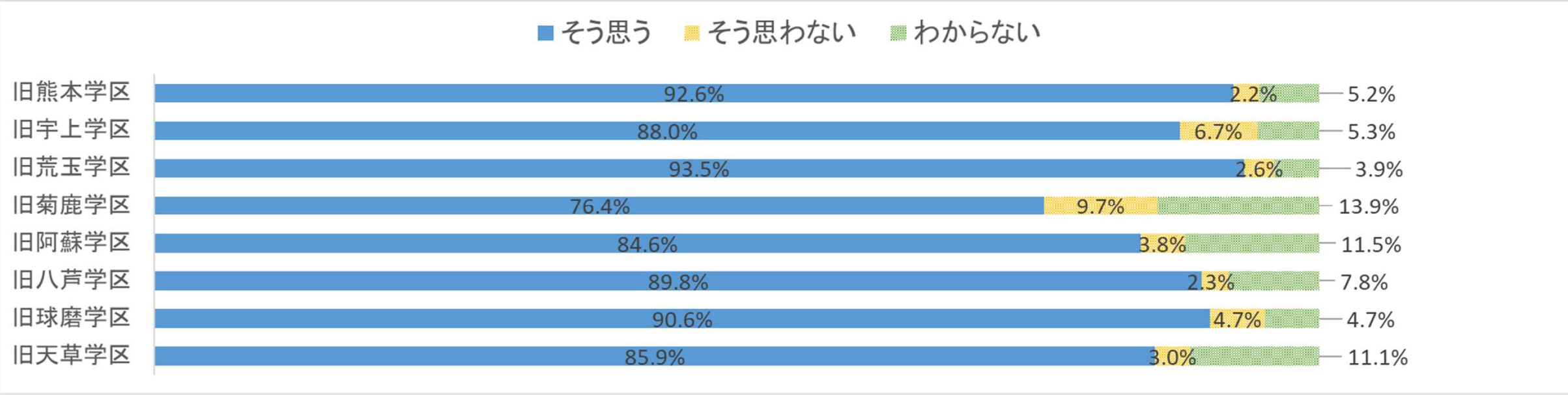
	旧熊本学区	旧宇上学区	旧荒玉学区	旧菊鹿学区	旧阿蘇学区	旧八芦学区	旧球磨学区	旧天草学区
そう思う	108	291	63	125	81	103	126	229
そう思わない	12	30	5	20	13	13	20	24
わからない	15	37	9	20	10	12	24	44
集計	135	358	77	165	104	128	170	297

地域意見交換会

事後アンケート結果

旧学区別

論点①－２ 少人数学級編制（1学級40人未満）の導入検討が必要ではないか



	旧熊本学区	旧宇上学区	旧荒玉学区	旧菊鹿学区	旧阿蘇学区	旧八芦学区	旧球磨学区	旧天草学区
そう思う	125	315	72	126	88	115	154	255
そう思わない	3	24	2	16	4	3	8	9
わからない	7	19	3	23	12	10	8	33
集計	135	358	77	165	104	128	170	297

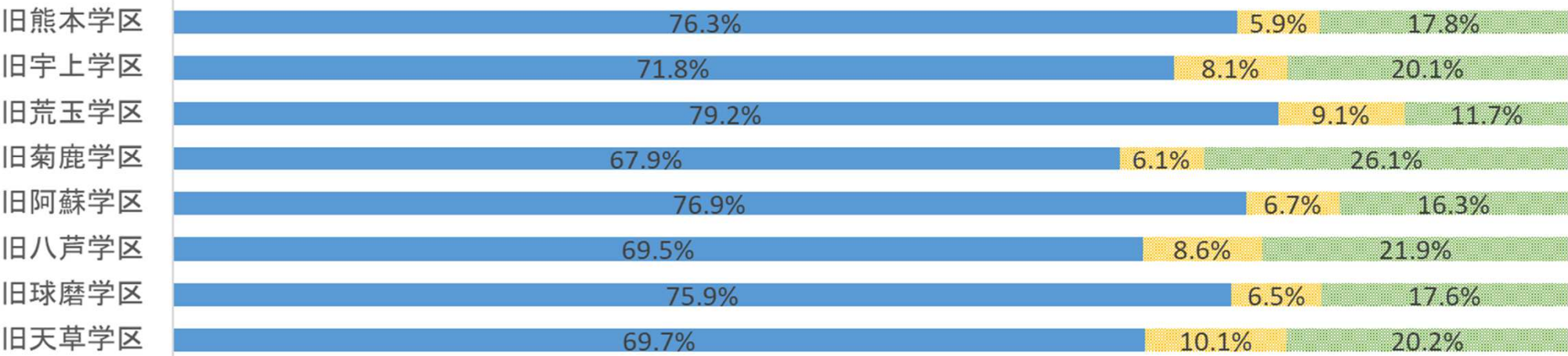
地域意見交換会

事後アンケート結果

旧学区別

論点② 一律の適正規模は定めないこととするのがよいのではないか

■ そう思う ■ そう思わない ■ わからない



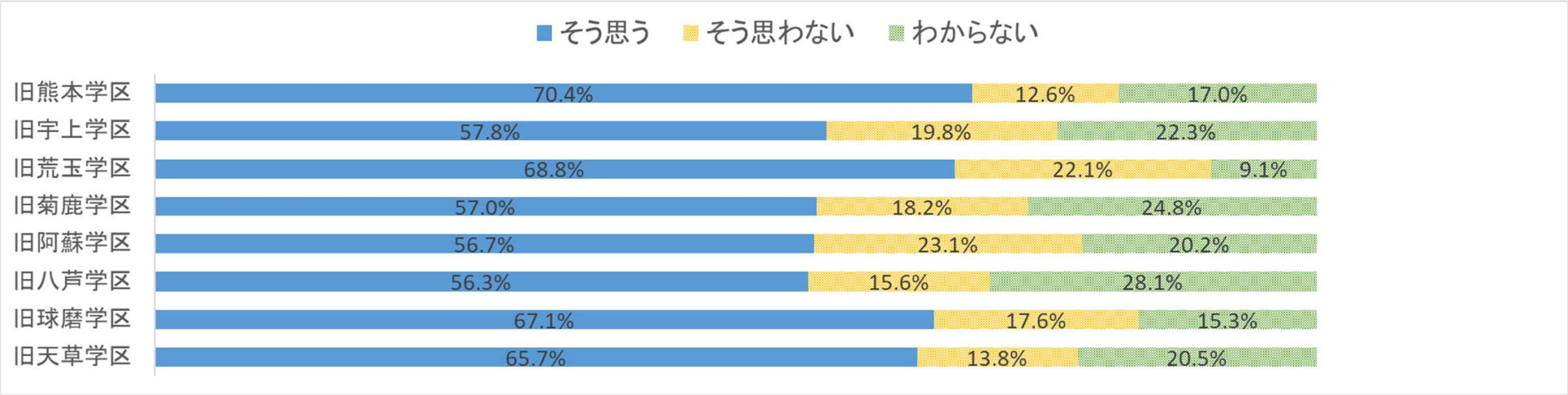
	旧熊本学区	旧宇上学区	旧荒玉学区	旧菊鹿学区	旧阿蘇学区	旧八芦学区	旧球磨学区	旧天草学区
そう思う	103	257	61	112	80	89	129	207
そう思わない	8	29	7	10	7	11	11	30
わからない	24	72	9	43	17	28	30	60
集計	135	358	77	165	104	128	170	297

地域意見交換会

事後アンケート結果

旧学区別

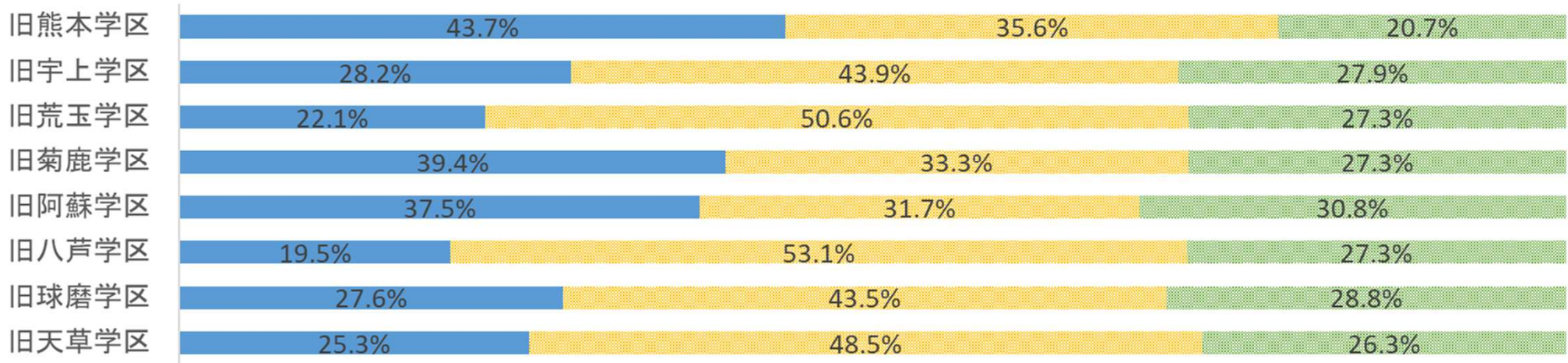
論点③分校化又は統廃合について、目標となる明確な基準があれば、地域と一体となって学校存続に取り組めるのではないか



	旧熊本学区	旧宇上学区	旧荒玉学区	旧菊鹿学区	旧阿蘇学区	旧八芦学区	旧球磨学区	旧天草学区
そう思う	95	207	53	94	59	72	114	195
そう思わない	17	71	17	30	24	20	30	41
わからない	23	80	7	41	21	36	26	61
集計	135	358	77	165	104	128	170	297

論点④通学区域・学区外枠の考え方について

■ 全県一区 ■ 学区制を維持 ■ わからない



	旧熊本学区	旧宇上学区	旧荒玉学区	旧菊鹿学区	旧阿蘇学区	旧八芦学区	旧球磨学区	旧天草学区
全県一区	59	101	17	65	39	25	47	75
学区制を維持	48	157	39	55	33	68	74	144
わからない	28	100	21	45	32	35	49	78
集計	135	358	77	165	104	128	170	297

地域意見交換会 事後アンケート結果 10代回答

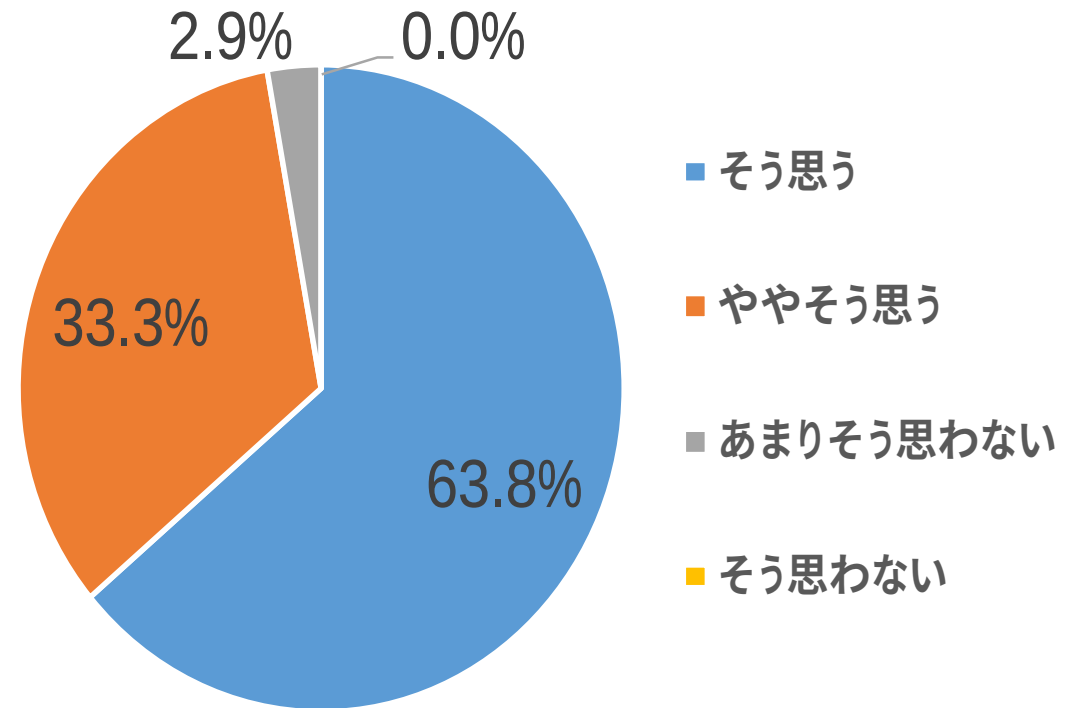
県教委からの情報提供の満足度

回答総数：210

「そう思う」「ややそう思う」：97.1%

3. 本日の内容について、県教育委員会からの情報提供（県立高校の現状・課題、あり方検討会の説明等）はわかりやすかったですか？

そう思う	134
ややそう思う	70
あまりそう思わない	6
そう思わない	0



地域意見交換会 事後アンケート結果

10代回答

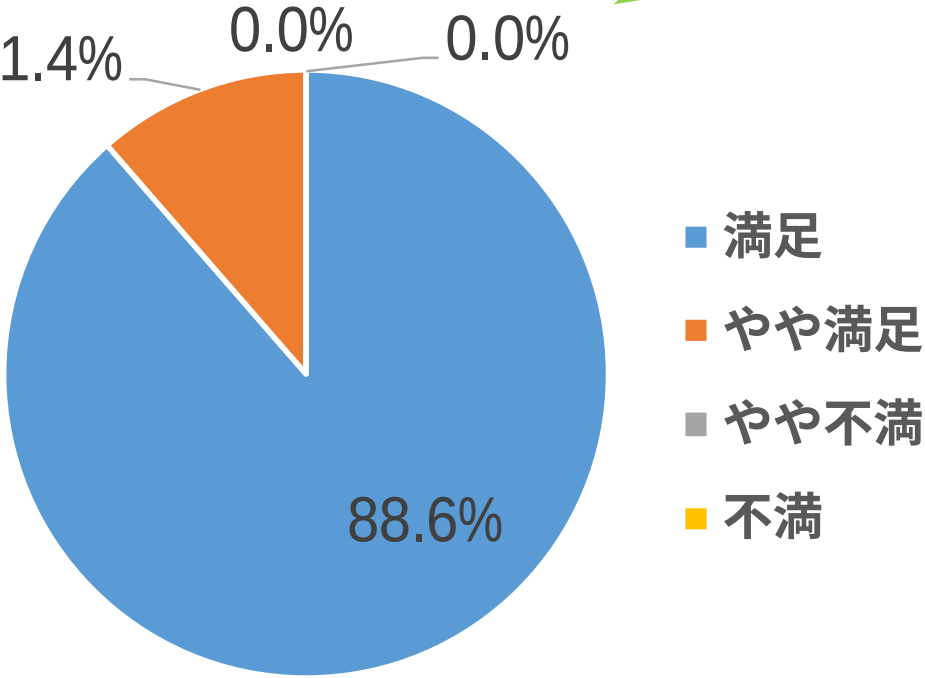
ワークショップの満足度

回答総数：210

「満足」「やや満足」：100%

4. 本日の内容について、ワールドカフェ ワークショップはいかがでしたか？

満足	186
やや満足	24
やや不満	0
不満	0



地域意見交換会 事後アンケート結果 10代回答

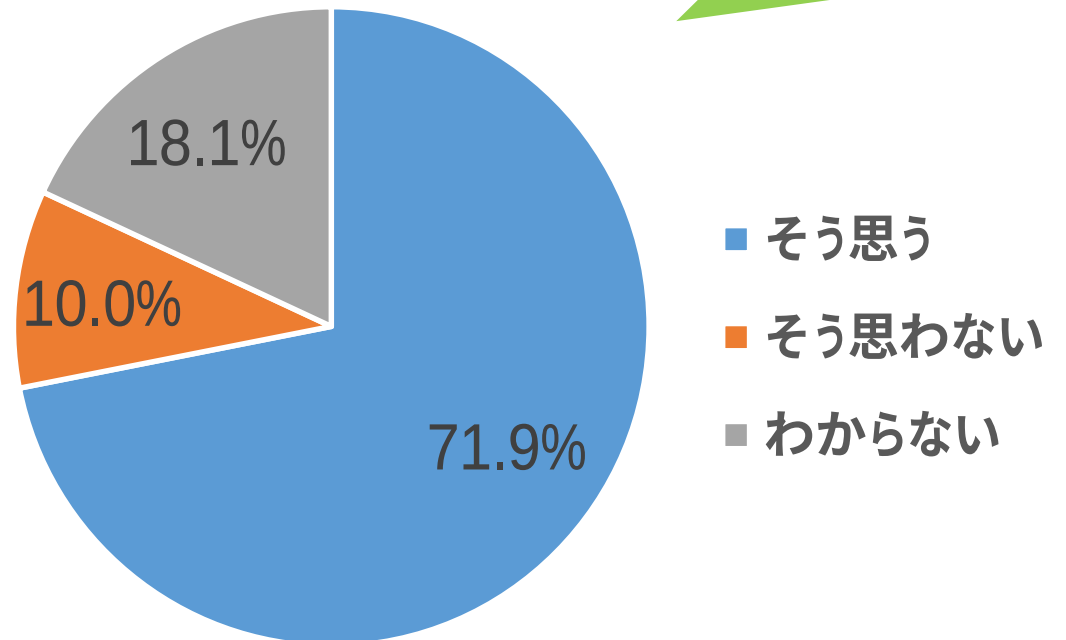
あり方検討会の議論の方向性について

回答総数：210

論点①－1 熊本市内の大規模校を含めた募集定員の見直しが必要ではないか

5.〈論点①〉 「募集定員の見直しの考え方」について、
「熊本市内の大規模校を含めた見直しが必要ではないか」とい
う第2回あり方検討会での方向性についてどう思いますか？

そう思う	151
そう思わない	21
わからない	38



地域意見交換会 事後アンケート結果 10代回答

あり方検討会の議論の方向性について

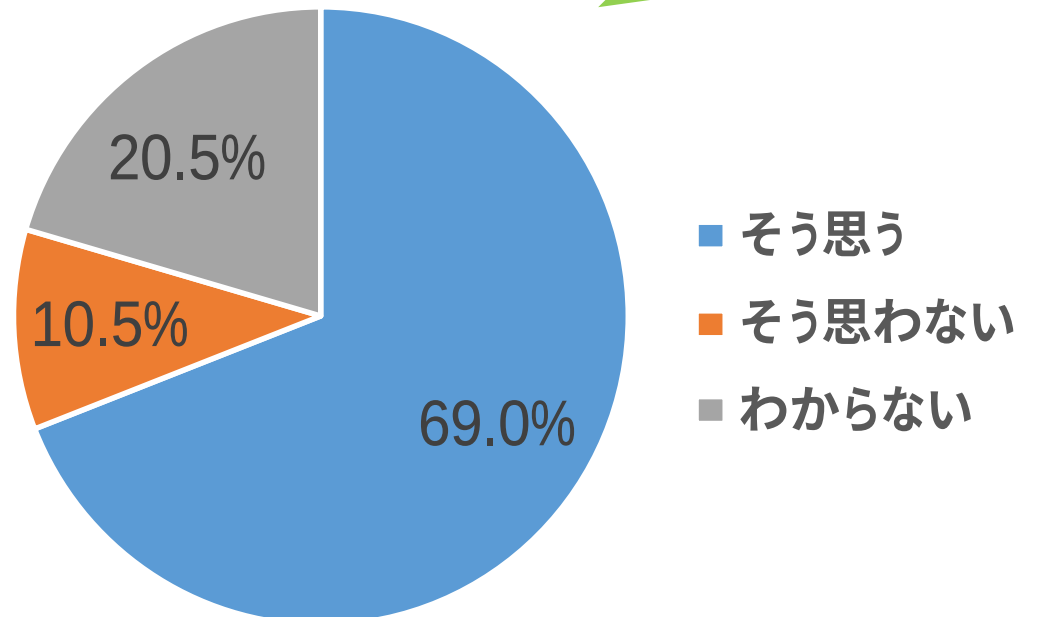
回答総数：210

論点①－2 少人数学級編制（1学級40人未満）の導入検討が必要ではないか

「そう思う」：69.0%

6.また、「少人数学級編制（1学級40人未満）の導入検討が必要ではないか」という第2回あり方検討会での方向性についてどう思いますか？

そう思う	145
そう思わない	22
わからない	43



地域意見交換会 事後アンケート結果 10代回答

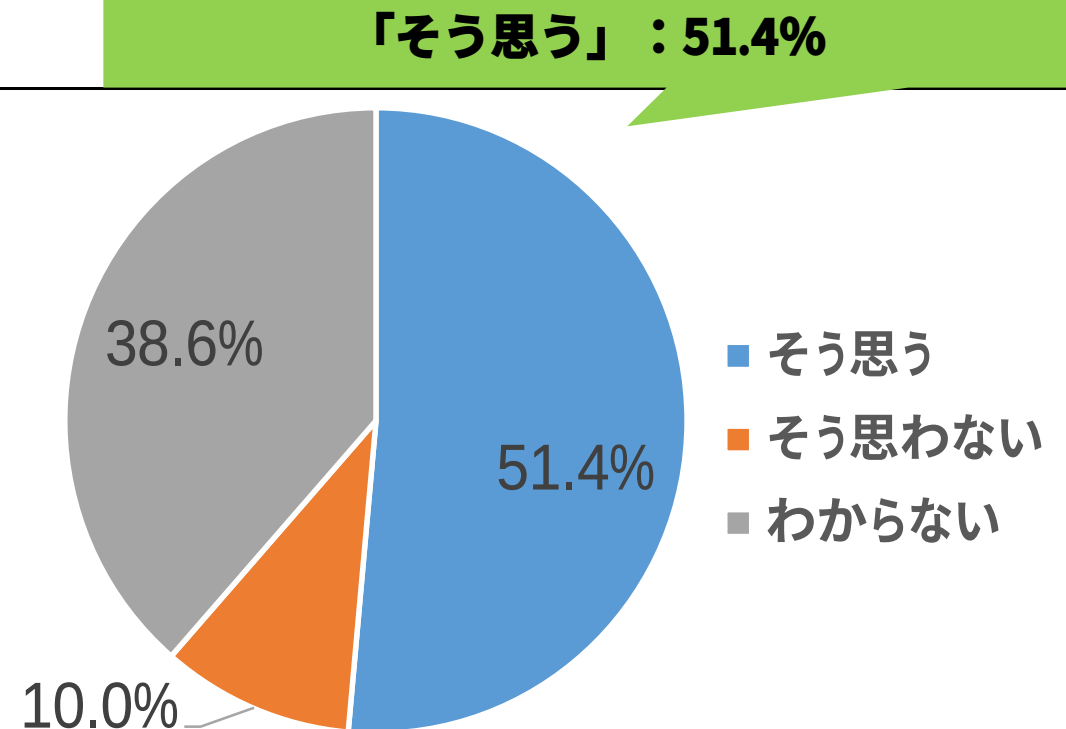
あり方検討会の議論の方向性について

回答総数：210

論点② 一律の適正規模は定めないこととするのがよいのではないか

7.〈論点②〉 「適正規模の考え方」について、「一律の適正規模は定めないこととするのがよいのではないか」という第2回検討会での方向性についてどう思いますか？

そう思う	108
そう思わない	21
わからない	81



地域意見交換会 事後アンケート結果

10代回答

あり方検討会の議論の方向性について

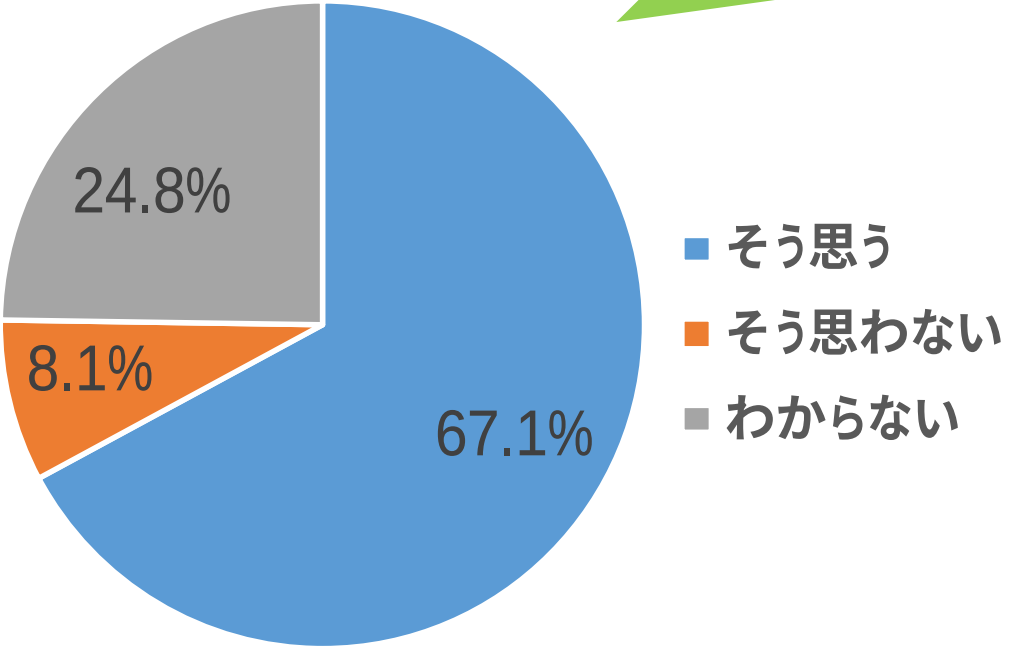
回答総数：210

論点③分校化又は統廃合について、目標となる明確な基準があれば、地域と一体となって学校存続に取り組めるのではないか

「そう思う」：67.1%

8.〈論点③〉 「分校化又は統廃合の基準についての考え方」について、「目標となる明確な基準があれば、地域と一体となって学校存続に取り組めるのではないか」という第2回検討会での方向性についてどう思いますか？

そう思う	141
そう思わない	17
わからない	52



地域意見交換会 事後アンケート結果 10代回答

あり方検討会の議論の方向性について

回答総数：210

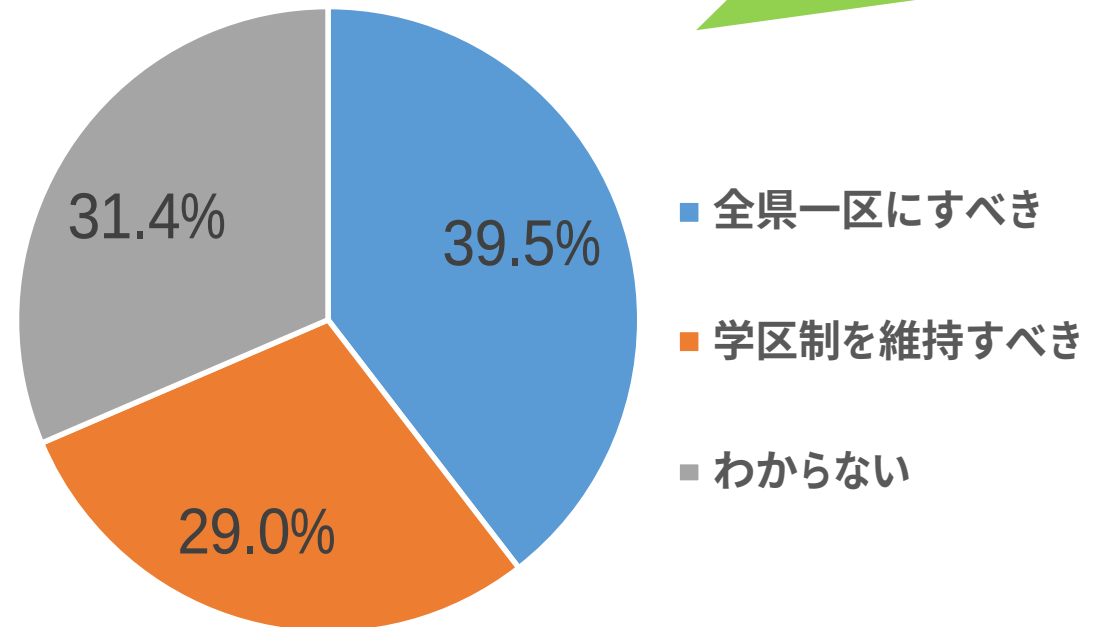
論点④通学区域・学区外枠の考え方について

「全県一区にすべき」：39.5%

9.〈論点④〉 「通学区域・学区外枠の考え方」について、
あなたの考えに近いものを選んでください

全県一区にすべき
学区制を維持すべき
わからない

83
61
66



地域意見交換会 事後アンケート結果

10代回答

10年後のあってほしい姿・魅力化の方向性等に関する意見

※自由記述より

- 生徒の自主性や積極性を伸ばし、自身の「やりたいこと（軸）」を確立できる学校
- 地域と交流が増えて、自主的に行動できる、人間性を高められる高校
- 地域に密着した特色ある学校、卒業後に別の場所に出たとしても戻って来たいと思えるような学校
- 自由な校風の学校
- 一人一人がやさしく「いじめ」のない学校、生徒が安心できる居場所に
- 勉強と部活の両方を真面目に取り組める学校
- 行事や部活が楽しくて、周りに自慢できる学校
- 小中学生などと交流し、様々な意見を集めるとより良くなるのでは
- 地域外からの入学者をもっと増やす、そのための環境や設備を整える
- 自校にしかない取組を、企業や地域ともっと協力して宣伝していきたい